

事後評価調書

【ほ場整備事業】

農林水産局農地整備課

事後評価調書

部課室名	農政環境部農林水産局 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農地整備課長 福田 稔 (県営整備係長 岩崎 良信)	内線	4003 (4014)
------	---------------------	---------------------	-------------------------------	----	----------------

事業種別	農林水産基盤整備事業	事業名	県営ほ場整備事業	事業主体	兵庫県
地区名	今田西部地区		所在地	篠山市今田町黒石、今田町本荘 他	

事業目的	事業内容
<p>本地区は、篠山市西端部を流れる東条川の両岸に開けた地域に位置している。農業用水の安定確保については、黒石ダム(平成元年度に完成)により達成されたが、農地は小区画、不整形で用排水施設・農道が未整備のため耕作に多大な時間を要し、効率の悪い営農が行われていた。このため、ほ場整備事業により農地の区画形状の改善と用排水路や農道の整備等を総合的に実施して効率的な営農の展開をめざす。併せて河川や県道の改良が実施されることにより住みよい地域づくりにも貢献する。</p>	<p>・ほ場整備 受益面積 107.8ha 本地面積※ 93.6ha } 農道 L=14.8km 用水路 L=30.4km 排水路 L=21.8km</p> <p style="text-align: right;">※直接農作物の栽培に供される土地で畦畔を除いた耕地面積</p> <p style="text-align: center;">〔国45%、県27.5%、市10%、地元17.5%〕</p>

事業期間	計画	H3年度～H15年度	事業費 (うち用地補償費)	計画	約18.3億円 (約1.3億円)
	実績	H3年度～H15年度		実績	約18.2億円 (約1.3億円)
完了年月	平成16年8月		過去の評価	H12再評価 (継続)	

●事業を取り巻く社会経済情勢等の変化

- 1 地域の農業従事者の高齢化が進んでいる。
- 2 食生活の変化等による米の供給過剰抑制のため、水田農業での生産調整(転作)が拡大され、水稻作付面積は減少している。
- 3 都市と農村の交流や県産農産物への期待の高まりを受け、農産物直売所への出荷など地域の地産地消の取り組みが広がっている。

	年度	農業従事者数	(千人)		水稻作付面積	(千ha)	備考
			65歳以上	割合			
兵庫県	H2	614.1	70.6	11.5%	52.2	35.2%	兵庫農林水産統計年報より
	H17	180.7	67.6	37.4%	39.2	44.4%	
篠山市	H2	21.6	2.8	13.2%	3.1	34.7%	
	H17	9.7	4.2	42.8%	2.2	49.4%	

●事業の効果の発現状況

想定した整備効果等	整備後の状況												
I 直接効果 1 営農経費(時間)の節減	<p>小区画・不整形だったほ場の大区画化と用排水路及び農道の整備が行われたため、農作業効率の改善が図られた。 (写真資料1参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほ場の大きさ: 整備前 4a (平均面積) → 整備後 30a (標準区画面積) ・ほ場の筆数: 整備前 2,225筆 → 整備後 573筆 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>年間労働時間 (hr/10a)</th> <th>実施前</th> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>水稻(大規模農家)</td> <td rowspan="2">47</td> <td rowspan="2">23</td> <td>18</td> <td rowspan="2">実績: 地区内 農業者より聞き取り</td> </tr> <tr> <td>水稻(一般農家)</td> <td>27</td> </tr> </table>	年間労働時間 (hr/10a)	実施前	計画	実績	備考	水稻(大規模農家)	47	23	18	実績: 地区内 農業者より聞き取り	水稻(一般農家)	27
年間労働時間 (hr/10a)	実施前	計画	実績	備考									
水稻(大規模農家)	47	23	18	実績: 地区内 農業者より聞き取り									
水稻(一般農家)			27										
2 認定農業者の育成と農地の集積	<p>ほ場の大区画化と農道の整備により大型農業機械の導入が可能となったことから事業完了後、認定農業者が4名育成され(平成20年度末現在)、農地の利用集積を行って地域農業の担い手としてより効率的な営農が行われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者数(担い手の育成) : 整備前 0人 → 整備後 4人 ・認定農業者による農地利用集積面積: 整備前 0ha → 整備後 26ha (所有農地は含んでいない) (農地利用集積状況図 及び 写真資料2～5参照) 												
3 水稻単収の向上	<p>従前の用排兼用水路から整備後の用排水路の分離により、ほ場の適切な用水管理と排水条件の改良等の改善が進み、水稻の単収が増加した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>10a当たり収穫量(t)</th> <th>実施前</th> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>水稻</td> <td>0.43</td> <td>0.49</td> <td>0.52</td> <td>平成20年兵庫農林水産統計年報(篠山市データ)より</td> </tr> </table>	10a当たり収穫量(t)	実施前	計画	実績	備考	水稻	0.43	0.49	0.52	平成20年兵庫農林水産統計年報(篠山市データ)より		
10a当たり収穫量(t)	実施前	計画	実績	備考									
水稻	0.43	0.49	0.52	平成20年兵庫農林水産統計年報(篠山市データ)より									

4 新規作物の定着

ほ場の乾田化等ほ場条件が改善されたことで計画的な畑作物への転作が可能となり、水稻以外の作物作付けの取組が拡大した。特に特産物として黒大豆作等の取組が増加した。

- ・ 黒大豆等の作付面積：整備前 3.3 ha → 整備後 27.8 ha

(写真資料6参照)

[参考] 作付面積

作付面積 (ha)	実施前※	計画	実績	備考
水稻	110.1	69.3	56.2	実績:JA、地区内 農業者より聞き取り
飼料作物	6.9	8.7	1.7	
黒大豆	3.3	7.8	20.1	
豆類(白大豆等)	0.0	0.0	7.7	
野菜・いも類	4.7	11.8	7.9	
小麦(裏作)	1.0	2.8	0.0	
計(A)	126.0	100.4	93.6	
全体本地面積(B)	125.0	93.6	93.6	
作付率(A/B)	100.8%	107.3%	100.0%	

※実施前は、旧町全体で水稻の生産調整配分が行われていたが、本地区は未整備田であったため、他地区に比べ本地面積に対する水稻作付割合が高くなっていた。

5 維持管理費の節減

農道や水路の維持管理については、整備後も草刈り、敷砂利等の補充、泥上げ・破損箇所
の補修作業等があるが、全体の賦役に要する時間はほぼ計画通りとなっている。

賦役延時間 (hr/年)	実施前	計画	実績	備考
農道・水路	4,180	3,344	3,344	実績:地元集落 より聞き取り

6 効果まとめ

- (1) 水稻の営農時間は、ほ場の大区画化などの区画形質の改善により、大規模経営農家への
基幹作業受委託が進んでいることから、農作業時間が大幅に節減され効率的な営農が図
られている。また、一般農家においても営農時間の節減が図られている。
- (2) 事業実施により生産基盤条件が改善されたことで、大豆作等の転作物の作付けが増加
(定着)し、農地が有効活用(作付け率100%)されている。
- (3) 維持管理における賦役時間は、全体では概ね計画どおりの時間節減がされている。

[参考] 主要作物(水稻・黒大豆)の粗収益及び営農経費、維持管理費

費目 (千円)	実施前	計画	実績	備考
A 収入	129,860	111,260	126,448	実績:地元集落よ り聞き取り
作物粗収入	129,860	111,260	126,448	
B 支出(a+b)	228,592	72,244	82,156	
a 営農経費	216,544	65,985	75,897	
b 維持管理費	12,048	6,259	6,259	
収支(A-B)	△98,732	39,016	44,292	

<p>II 間接効果</p> <p>1 整備による災害発生の抑制</p> <p>2 農道整備等による生活環境の改善</p> <p>3 集落ぐるみでの維持管理作業の取り組み</p>	<p>ほ場の区画形質の改善や排水路の整備により、法面崩壊などの災害が減少した。また、農作物の冠水被害が減少した。</p> <p>(受益者アンケート：法面崩壊の減少に効果有り → 63% 農作物の冠水被害の減少に効果有り → 64%)</p> <p>(1) ほ場整備の実施により、農道が整備されたことで、日常生活交通の利便性向上が確保された。</p> <p>(2) 道路幅員が狭い等の理由で従来緊急車両の進入が困難であった区域への通行が可能となった。</p> <p>(受益者アンケート：利便性・安全性の向上に効果有り → 80% 整備によって生活環境が良くなった → 82% 緊急車両の通行に効果有り → 86%)</p> <p>(アンケート回収率：47/100=47%)</p> <p>(3) ほ場整備事業の換地手法を活用して用地を創出し、本事業の実施と併せて区内を流れる一級河川東条川や県道黒石三田線の改良・拡幅整備が速やかに進み、地域の安全安心など生活環境改善に寄与している。</p> <p>7集落のうち6集落では、農地・水・環境保全向上対策により、集落ぐるみでの農地・農業用施設の共同維持管理作業に取り組んでいる。この中には3集落が連携して実施していることから、今後は集落営農への取り組みに発展することが期待される。</p>
---	---

●事業実施による周辺環境への影響

- 1 耕畜連携による環境創造型農業の芽生え
 - ・認定農業者の中には地区内の畜産農家へモミ殻や牧草を提供し、代わりに畜産農家で生産された堆肥を整備された農道を活用して農地へ散布還元する関係が構築され、環境創造型農業が実践されている。(地元農家聞き取り)
- 2 生物等環境への影響
 - ・営農が継続されていることから良好な農村景観が維持され、さらに農地・水・環境保全向上対策の生態系保全活動として生き物調査が実施されるなど、地域の生態系にも配慮した取り組みが行われている。(地元農家聞き取り)

●特徴的な取り組み

- 1 地産地消の取り組み
 - ・地区内の農家には、当該地区の近傍にある農産物直売施設に米・野菜などの農産物を出荷して収益を伸ばしており(売上げ平均88万円/戸・年)、さらにJAを通じて地区内産白大豆を豆腐等に加工するなど、地産地消の取り組みが着実に展開されている。(写真資料7～8参照)
- 2 大規模経営農家への農地利用集積と預け手との協働
 - ・地区内の認定農業者は、高齢農家の農地を集積し基幹的な農作業の受託を行っている。さらに一部の認定農業者は意欲のある高齢農家を軽農作業に雇用し、高齢農家へも配慮した地域農業の確立に努めている。

●改善措置の必要性

本地区では、ほ場整備により効率的な農作業が可能となり、育成された認定農業者による農地利用集積が促進されている。しかし今後高齢化の進行等に伴い、持続性のある安定した担い手確保と農地・農業用施設の日常管理体制維持の必要性も高まることから、法人化をめざす認定農業者や認定農業者を中心とした集落営農組織等、地域性に応じた経営体の育成と、まとまりのある農地集積への誘導に向けて一層の推進を図ることが重要である。

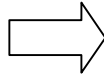
●同種事業の計画・調査・事業実施のあり方、事業評価手法の改善等

- 1 担い手の育成と円滑な農地集積
 - ・事業計画策定時に農業改良普及センター、市、JA等関係機関が連携して関係農家を主体とした合意形成を充分支援し、ほ場整備事業を契機とした担い手の育成と整備後の農地利用集積とをより一層円滑に進めることが求められる。
- 2 省力化・軽労化に繋がる整備水準の検討
 - ・ほ場整備により、草刈りや用水管理等より一層の農作業省力化や軽労化に資する整備が必要である。
 - ・農地の汎用化と整備コストの縮減をさらに図るための工夫が必要である。

1 ほ場整備

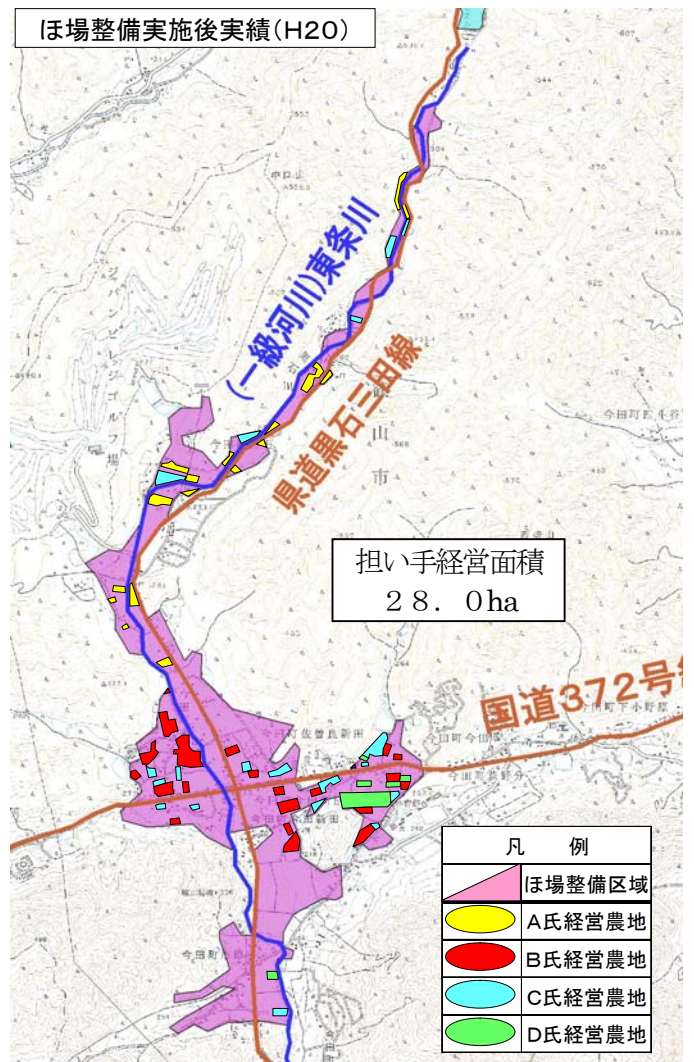
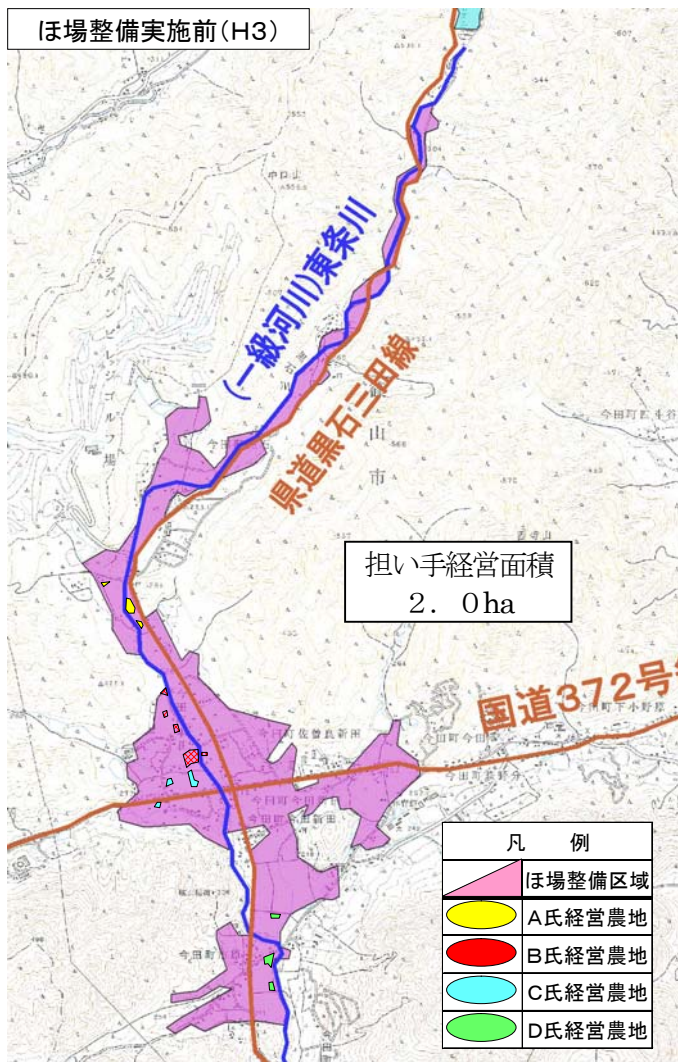


施工前



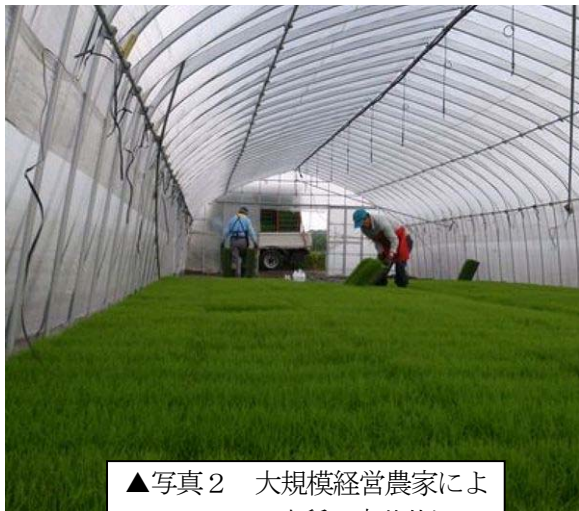
施工後

▲写真1 施工前後状況



農地利用集積状況図

2 営農状況



▲写真2 大規模経営農家による水稲の育苗状況



▲写真3 農地の大区画化に伴う大型機械導入による田植作業状況



▲写真4 農地の大区画化に伴う大型機械の導入による稲刈作業状況



▲写真5 農道の整備に伴う大型車両による米の搬出状況



▲写真6 特産の黒大豆栽培状況

3 直売施設と加工品



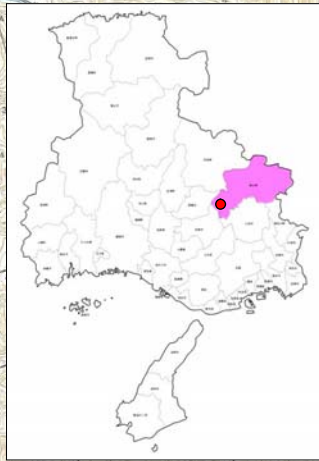
▲写真7 直売施設(こんだ旬菜市「農」)販売状況



▲写真8 手作り豆腐工房で作った“夢豆腐”

県営ほ場整備事業「今田西部」地区

縮尺=1:25,000



ほ場整備を契機とした
黒大豆の作付増



大型機械の導入による
効率的な営農への転換



←至加東市

→至篠山市街地

国道372号線

篠山市役所(今田支所)

ぬくもりの郷
(農産物直売施設等)



標準区画図

